



3冊の絵本のうち、児童が気に入った1冊をプレゼントします

5月10日

新1年生全員に絵本を贈る ブックサード開始

町教育委員会は、ふるさとブックスタート事業を拡充し、新1年生に絵本を贈る「ブックサード」を始めました。同事業ではこれまで、生後4カ月児に絵本とブックバッグを配布。3歳児には「ブックセカンド」として名前入りのオリジナル絵本を贈っています。

ブックサードでは「よみきかせの会☆星の子」が3冊の絵本を読み聞かせ、気に入った1冊を贈ります。



ツツジを植えるライオンズクラブのメンバー

5月12日

花いっぱい公園に ライオンズクラブ植樹

白糠ライオンズクラブ（高橋清美会長）が所属するライオンズクラブ国際協会331-B地区のメンバー35人が、岬の森東山公園内の「ライオンズの森」にドングリやサクラの苗木、ツツジなど346本を植えました。

高橋会長は「331-B地区の協力により、多くの苗木や花を植えることができ感謝しています。花いっぱいの公園で楽しんでもほしい」と話していました。

5月5日

チーズや羊肉料理を求めて 山の恵みの即売会

チーズ工房白糠酪恵舎が主催する「山の恵みの即売会」が開催されました。

会場では、白糠酪恵舎のハイジパンやラクレット、茶路めん羊牧場の羊肉のハンバーガーや串焼き、ボロネーゼパスタなどが販売されました。

来場者は、屋外に設置された飲食スペースで暖かい春の日差しの下、白糠グルメを堪能していました。



ソフトクリームを頬張る子どもたち

5月10日

誰もが気軽に楽しめるポッチャを広める ポッチャ体験会

町教育委員会主催の「ポッチャ体験会」が西庶路コミュニティセンターで行われ、町民24人が参加し、ポッチャを通じて交流を深めました。

町スポーツ推進委員会の坂本勝雄会長の指導の下、参加者は3人ずつのチームで試合を行いました。参加した西村孝さんは「みんなで運動できて楽しいです。もっと男性にも参加してほしい」と話していました。



ポッチャは白いボールに、いかに近づけるかを競うスポーツです

4月21日

創立50周年の節目を祝う 手をつなぐ育成会創立50周年

白糠町手をつなぐ育成会（村上誠会長）の創立50周年記念式典がやまびこ会館で開かれ、会員や来賓など約30人が出席し、半世紀の節目を祝うとともにさらなる飛躍を誓いました。

同会は1974年4月「精神薄弱者親の会」として発足。障がい者の自立促進のため、共同作業所「太陽の家」や「虹の家」、グループホーム「くろーばー」を開設するなど、社会につながる土台をつくりあげました。

式典で村上会長は「これからも仲間が笑顔でいられるよう、地域で安心して生活していけるよう、会員と手をつなぎ、まい進していきたい」と式辞。

来賓の棚野孝夫町長は「障がいのある方々の幸せと社会自立のため、町としても支援の充実を図っていきたい」とあいさつを述べました。

続いて、感謝状・功労者表彰贈呈式が行われ、3月に亡くなった高橋トキさんと、娘の高橋裕子さんに感謝状が贈られました。また、同会役員として運営に貢献した橋本房恵元会長と細谷淑子さん、春田裕さんの3人に功労者表彰が贈られました。



春の日差しを感じながらプレーを楽しむPG愛好家

5月1日

待ち望んだパークゴルフシーズン パークゴルフインチャロオープン

パークゴルフインチャロが1日にオープンし、この日を待ちわびたパークゴルフ愛好家たちが、久しぶりのプレーを満喫していました。

この日は、町外からも多くの人々が訪れ、コース内では「ナイスショット」などと楽しそうな声が響いていました。本別町在住の杉本弘美さんは「天気も良く、友人とプレーできて楽しいです」と話していました。



①半世紀の節目を祝った記念式典 ②村上会長から功労者表彰を受ける細谷さん。細谷さんは副会長を務めていました ③同じく功労者表彰を受ける春田さん。春田さんは幹事を務めていました。橋本元会長は欠席のため、表彰状は自宅に届けられました

4月30日

たくましく育つことを願って 茶路小中学校前庭に桜を植樹

「あつしの千本桜」で有名な寺澤篤司さんと有志の方が、茶路小中学校の前庭に桜の苗木を植えました。

同校の校庭の大きな桜が老木化により撤去されることとなったため、その枝から苗木を作りました。

この日は、その苗木と寺澤さんが育てたエゾヤマザクラの苗木10本を植えました。伊藤善一校長は「児童や生徒と大切に育てていきたい」と話していました。



苗木を前に寺澤さん（右から3人目）と有志のメンバー